

天沼小だより

文責

校長 大里 忠弘



緊急時引き渡し訓練

ご協力ありがとうございました

9月25日(金)地震を想定した避難訓練を行いました。本来であれば最も安全な校庭へ避難するところですが、この日はあいにくの雨模様でしたので、体育館へ避難しました。校内放送による避難指示を聞いた子どもたちは、静かに、整然と素早く廊下を移動し、体育館内に集合しました。

この避難訓練にあわせて、保護者の皆さんへの引き渡し訓練も実施しました。学校敷地内での混乱を避けるために、自動車ではなく自転車や徒歩でのお迎えをお願いしましたが、皆さんのご協力をいただき、とてもスムーズに引き渡し訓練を行うことができました。

避難訓練の際の校長からの講話では、学校が休みの時や、学校から帰る途中などに大きな地震が起きてしまったとき、家の人と集合する場所を決めておくようにと話しました。いざというときの約束事について、ご家族で話題にする機会を是非作ってください。

学習新聞の書き方特別授業

5年生の教室にお邪魔しました。桐生市は、学習新聞コンクールで優秀な作品を多数生み出している、新聞教育の先進的な地区です。これまで数多くの優秀な作品作りで活躍された金子道子先生を講師に迎え、特別授業が行われています。

題字の書き方、記事のテーマの決め方、記事の割り付け、読み手の関心を惹きつける文字のデザイン、記事を書くための取材の仕方、などなど、学ぶことがたくさんあります。

10月5日(月)に予定している校外学習で見たこと、感じたことを元に学習新聞を書き上げる計画です。特別授業で学んだことをいかして、いろいろと工夫を凝らしてくれることでしょう。どんな学習新聞に仕上がるか楽しみです。



整然とじょうずに避難



ご家族も健康チェック



徒歩でのお迎え感謝です



講師の金子先生のお話



優秀なお手本作品を参考にしています

廊下がピカピカ

10月1日(木)、校長が校舎内を歩いていると、B棟2階の廊下をぞうきんで拭いている子たちを見かけました。しばらくすると、ぞうきんを手にした子が次々とやってきて、仲間に加わりました。丁度、図工の授業が終わったところで、床にこぼれた水の始末をしているのかなと思ったのですが、真相はそれだけではなかったようです。

水彩絵の具のパレットを洗って教室に戻った子が「床がよごれていたから、きれいにしてきたよ」と先生に報告した声を聞いて、別の子が「まだ汚れているので、僕たちも行ってきます」と元気にぞうきんを手にして教室から出て行ったそうです。その声を聞いた他の子たちが、「ぼくも、わたしも」と仲間に加わったというのです。

床の汚れに気づいた子がすばらしい。

そのままにせず、きれいにしようと思い立った行動が素晴らしい。

その子のつぶやきを聞いて、人ごとにせず、仲間に加わった子たちが素晴らしい。

この日までにたまっていた汚れが落ち、見る間に廊下はぴかぴかになっていきました。

偶然にも、天沼小の子どもキラリとした姿に出会えたことが嬉しいです。

もうひとつ素晴らしい光景が加わります。

何人もの子たちが床を拭いているところに、音楽室から教室へ戻る2年生の列がやってきました。それに気づいた彼らは、サッと広がって道を空けました。そして一言加えてくれました。

「ぬれていてすべるから、きをつけて」

その場に居合わせたみんなが優しい気持ちになりました。

このすてきな仲間たちは、4年3組の子たちでした。

この廊下は、しばらく前から汚れが目立っていました。毎日掃除はしていますが、大勢が歩く場所なのでどうしても汚れがひどくなりやすいのです。

今回の気づきをきっかけに、キラリとした仲間が増えてくれると嬉しいです。



この日、昼の清掃の後、校舎内を回ってみると、B棟1階の流し前がきれいに光っていました。濡れた床が、ぞうきんできれいに拭き上げられていました。この場所を担当しているのは4年1組です。みんな普段からしっかり掃除ができていますね。

ありがとう。ありがとう。